

特集

「看護教員が 教える 形態機能学」 への道



MAJOR ARTICLES

「看護師の教育は看護師で」という意気込みは、以前より強くありました。けれども、看護は教えられても、いわゆる“医学”系の科目を教えるのは難しいため、取り組みはなかなか進んでいません。そんななか、『解剖生理学』から変わった『形態機能学』を看護教員で教えようと、東京都立看護専門学校の先生方が立ち上がりました。

もちろん、『形態機能学』のすべてを看護教員が教えるのには無理があります。何を教えたらいいのか、何なら教えられるのか、試行錯誤を繰り返した結果、その範囲を定め、担当することができるようになりました。

今回の特集では、決して潤沢ではない人数の専門学校の教員が、『形態機能学』を教えることになるまでに至った道のりを紹介します。皆さんの取り組みの参考になれば幸いです。

なお、「看護教員が教える形態機能学」の詳細な内容は、2号より連載いたします。